

# 思考力を問う問題

## 問題用紙

(注意事項)

- 1 始めの指示があるまでは、開いてはいけません。
- 2 答えは、HB 又は B の鉛筆(シャープペンシルも可)を使って、全て解答用紙に記入下さい。
- 3 検査問題は、大問 4 題で、1 ページから 12 ページまで印刷されています。また、解答用紙は、両面に印刷されています。

検査開始後に、印刷のはっきりしないところや、ページが抜けているところがあれば、手を挙げ下さい。

- 4 氏名、受検番号は、解答用紙の決められた欄に書き、受検番号は、その数字の ○ の中を正確に塗りつぶして下さい。
- 5 マーク式で解答する問題は、○ の中を正確に塗りつぶして下さい。

良い例	悪い例
	線  小さい  はみ出し  丸囲み  レ点  うすい

- 6 記述式で解答する問題は、解答欄からはみ出さないように書き下さい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書き、消しくずを残してはいけません。
- 8 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。
- 9 解答用紙だけ提出し、問題用紙は持ち帰り下さい。
- 10 答えに分数が含まれるときは、それ以上約分できない形で答え下さい。
- 11 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数とした形で答え下さい。
- 12 

--

 中の「あ」、「い」、「う」、… にあてはまるものを答える問題については、下の例のように、あてはまる符号(－)や数字(0～9)をそれぞれ1つずつ選び、その符号や数字の ○ の中を正確に塗りつぶして下さい。

例 

あいう
-----

 に－18と答える場合

あ		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
い	－	①		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
う	－	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		⑨

え
お

 に  $\frac{3}{7}$  と答える場合

え	－	①	②		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
お	－	①	②	③	④	⑤	⑥		⑧	⑨

- 1 次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読み、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、解答する際に字数制限がある場合には、句読点や「」などの符号も字数に数えること。

【文章Ⅰ】

徳倫理学では自己の追求する善と自他の共存を成り立たせる正とが<sup>(注1)</sup>截然とは分けられない。家族、友人、はては同じポリスの住民も含む他人の幸福は本人の幸福の構成要素だからである。すると、自然の利益が人間の自己自身の利益の一部をなすと考える徳倫理学の環境倫理理論が成り立ちそうである。

A 環境に関する徳として、たとえば、自然にたいする驚嘆が挙げられる。生物種がその環境のなかでいかに巧みに生きぬいていくかを知れば驚嘆せざるをえない。それぞれの生物種の環境が重なり合うなかで、ある生物種の生存が他の生物種の生存を成り立たせている絶妙な相互依存関係を知ることはたんに知的な関心の満足にとどまらず、人間の生存もその相互制約の網のなかではじめて成り立つことに思いを馳せれば、感謝の対象とも畏敬の対象ともなるだろう。

そうした意識は人間の利益だけのために生態系を破壊する行為への節制や謙譲の徳に通じるだろう。さらに、生き物の姿形や自然景観にたいする美的な関心や海・川・山・森林を利用したスポーツや娯楽やそれらの場を訪れて得られる情操面での慰安や快復は、人間がそなえているさまざまな能力の一部であつて、それらの能力が開花する人生のほうがそうではない人生より豊かだろう。ふだん暮らしている生活空間のなかにも自然のさまざまな面を享受する機会が確保されているなら、自分が住んでいる地域への愛情はそうでないよりもはるかに高まるにちがいない。それゆえ、環境に関する徳は、一方で生き物の多様性と生態系の維持に、他方で人間の性格の向上と生の充実に通じている。

とはいえ、生命中心主義の環境倫理理論の支持者ホームズ・ロールストン三世(一九三二―)は徳倫理学の環境倫理理論にたいしてこういう批判を投げかけている。なるほど、自然を知り、自然に接することで、人間のさまざまな能力が開花し、人間らしい生が送れるだろう。しかし、それは結果である。人間が自然との交渉を介してそうした善を得るのは、自然そのものが善だからだ。それゆえ、自然が人間にもたらす益とは独立に、生命中心主義が主張するように、自然のなかにある価値を認めなくてはならない。ロールストンからみれば、徳倫理学は<sup>B</sup>真の環境倫理理論に行く「途上」にとどまっている。

(品川哲彦『倫理学入門』による。)

(注1) 徳倫理学＝幸福と徳を基盤とする倫理学。ここでの徳とは、それぞれのものが固有に持つ善い点や優れた点のこと。

(注2) 截然＝物事の区別がはっきりとしているさま。

(注3) ポリス＝都市。

(注4) ホームズ・ロールストン三世＝アメリカ合衆国の哲学者。

## 【文章Ⅰ】

エルトン(イギリスの動物生態学者)は自然を保護する理由の第一に、これは宗教的といつてよいものだがと前置きして、「世界中で何百万人かの人たちは、動物は生存し、他から干渉されない権利を持っており、したがって、動物は迫害されてはならないし、種を消滅させるなどもつての外だ、と考えている」と書きます(『侵略の生態学』)。

この何百万人は、すべてが厳密に宗教の教義に基づいてそう思っているわけではないでしょう。特定の宗教に属さなくても、あらゆる生命に価値があるとする生命中心主義の立場をとることができます。たとえば、「生物は生き延びる(続く)という目的をもっている。目的があれば、目的のために役立つものには価値があるのだから、生物は自身で価値をもっていることになる」のです。もちろん各生物が勝手に「進化の過程で獲得したそういう価値を、人間がいちいち守るべきかは議論のあるところですが、そもそも続くというヒトにも通じる共通の目的を生物はみなもっているのだから、こういうものたちは守るべきだと考えてもいいでしょう。

生き延びて続いていくやり方は、生物により千差万別で、そのため異なる種はそれぞれ独自の生活様式・独自の世界をもっています。今いる生物はすべて生き延びることに成功した成功者なので、すから、「みんなちがって、みんないい」と言えますね。そういうものたちは滅ぼしてはいけないという立場もあるでしょう。私はこの立場です。正直に申せば、皆がみんないいかどうかは分かりません。でも違うものたちと付き合う上では、「みんないい」をたてまえとして付き合うのが動物学者としての礼儀だと思っているものですから、余計なことは考えずに「みんないい」と言い切っています。

生物は長い歴史をもち、いったん失われたら再び同じものが進化してくることなどありえないものです。こういう歴史性と唯一性をもつものはかけがえのないものだから尊重すべきだ、価値があるのだという立場もあります。

生態系そのものに価値があるという考えもあります。生態系のような多数の要素が複雑に関係し合いながら、なおかつ統合されて働いているものは希有<sup>めづかしい</sup>の存在であり価値があると考えられるのです。もし生態系に価値があるなら、どんな種も生態系が今ある形で安定していることに何らかの役割をはたしているのですから、どの種にも価値がある、だから絶滅させてはならないという考えが導けます。個々の生物種に価値があるという立場から出発しなくても、生態系という統合された全体の方から出発しても、個々の種に価値を見いだすことができるわけです。

また、人間に人権があるように、生物にも権利があるとする考えがあります。権利をもつとは、内在的な価値をもっているということですし、権利があるのなら、それを守つてやる義務も生じます。権利には生存権<sup>生存権</sup>も含まれるとすれば、その生物の生存は守らねばなりません。ノルウエーの哲学者アルネ・ネスは(注5)タイプ・エコロジー運動の原則として生命圏平等主義をかげ、あらゆる生物には等しく生き栄える権利が与えられており、そのことは直感的に理解される価値原理だとします(ドレングリン・井上<sup>いのうえ</sup>「生態タイプ・エコロジー」)。

(本川達雄<sup>もとがわ たつお</sup>『生物多様性』による。)

(注5) タイプ・エコロジー＝すべての生命に、それ自体としての価値を認める立場から地球の生態系を保護しようとする思想。

- (1) 【文章Ⅰ】中に <sup>A</sup>環境に関する徳 とあるが、その説明として適当なものを、次のア～オのうちから二つ選び、その符号を答えなさい。

ア それぞれの生物種の環境が重なり合うなかで、生き物同士が支え合って生存している生態系は大いに驚嘆するものであり、そうした情動によって人間がそなえている美的感覚が磨かれ、豊かで幸福な人生に結びつくということ。

イ 自然環境に抱く感謝や畏敬の念は、生態系の破壊の抑止に通じるだけでなく、生き物や自然に触れることで得られる効能によって人間がそなえている能力を開花させ、さらに豊かで充実した生を送れるようになるということ。

ウ 生き物の姿形や自然景観にたいする美的な関心や、海・川・山・森林を利用したスポーツや娯楽を行ったり、それらの場を訪れたりして得られる情操面での安らぎは、本人の幸福へと通じて快適な生活空間を広げるということ。

エ 生物種が自然環境のなかで、相互依存関係を保ちつつ巧みに生きぬいている現実に向き、人間もまた他の生物種との相互制約のなかで生存する関係に思いを馳せると、生き物の多様性と生態系の維持に通じるということ。

オ 人間を含めた多くの生物種は、それぞれの環境のなかで相互に依存して生存しているので、ふだん暮らしていない自然環境のなかにも良い面を見いだすことができ、結果的に自分が生きている世界への愛情が高まるということ。

(2) 【文章Ⅰ】中の <sup>B</sup> 真の環境倫理理論に行く「途上」にとどまっている について、次の(a)、(b)の問  
いに答えなさい。

(a) 【文章Ⅰ】をふまえて、「途上」という言葉の内容を、四十字以上、五十字以内で書きなさい。

(b) 【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】をふまえて、「真の環境倫理理論」に到達するために必要なことについて  
説明しなさい。ただし、次の〈条件〉にしたがうこと。

〈条件〉

① 【文章Ⅱ】中の「内在的な価値」という言葉を使うこと。

② 百字以上、百二十字以内で書くこと。ただし、マス目から書き始め、段落は設けな  
いこと。

(問題は次のページに続く)

2 次の(1)~(4)の問いに答えなさい。

- (1) 下の図1のように、自然数を1から順に時計回りに並べ、太線部分で切り取ったものが図2である。また、図2のように、1が書かれているマス目を1列目、1段目とし、 $m$ 列目、 $n$ 段目を、 $(m, n)$ と表すこととする。例えば、10が書かれているのは $(3, 2)$ である。

このとき、次の「あ」~「え」にあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

2025 が書かれているのは(  ,  )である。

図1

21	22	23	24	25	26
20	7	8	9	10	27
19	6	1	2	11	28
18	5	4	3	12	29
17	16	15	14	13	30
				...	31

図2

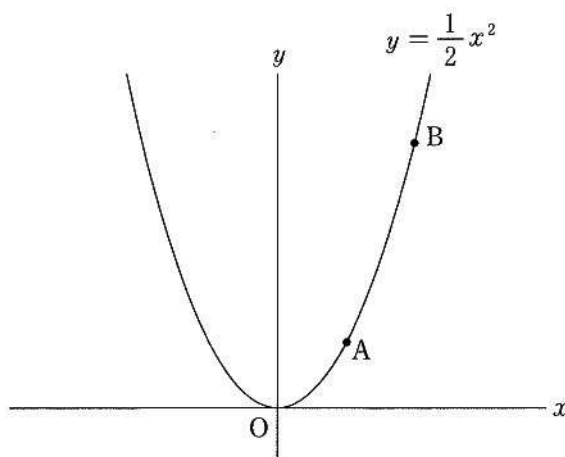
...				
4段目	46	...		
3段目	23	24	25	26
2段目	8	9	10	27
1段目	1	2	11	28
	1 列 目	2 列 目	3 列 目	4 列 目

- (2) 下の図のように、関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフ上に2点A, Bがあり、 $x$ 座標はそれぞれ2, 4である。

$y$ 軸上に点PをAP + BPの長さが最も短くなるようにとり、 $x$ 軸上に点QをAP + BP = BQとなるようにとるとき、次の「お」、 「か」にあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

ただし、原点Oから点(1, 0)までの距離及び原点Oから点(0, 1)までの距離をそれぞれ1 cm とする。

点Qとして考えられる2点を、 $Q_1, Q_2$  とするとき、  
線分  $Q_1Q_2$  の長さは   $\sqrt{\text{  }}$  cm である。



- (3) 下の表1は、ある中学校38人分の100点満点のテスト結果について、得点の高い9人をA、次に高い10人をB、その次に高い10人をC、残りの9人をDとする4つのグループに分け、各グループの最大値、四分位数、最小値をそれぞれ表したものである。

A, B, C, D 全てを合わせた38人分のデータをXとするとき、次の①、②の問いに答えなさい。

表1

	A	B	C	D
最大値	95	80	62	40
第3四分位数	89	74	57	36
第2四分位数	84	70	55	34
第1四分位数	82	66	48	31
最小値	81	64	43	20

(単位：点)

- ① 次の「き」「く」にあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

Xの第2四分位数は きく 点である。

- ② 新たに2人に同じテストを行い、この2人の得点 $a$ 、 $b$ をXに追加した40人分のデータをYとする。

このとき、次の   中のⅠ～Ⅲの内容について、正しいものを「○」、正しくないものを「×」とし、その組み合わせとして適当なものを、あとの表2のA～Kのうちから1つ選び、符号で答えなさい。

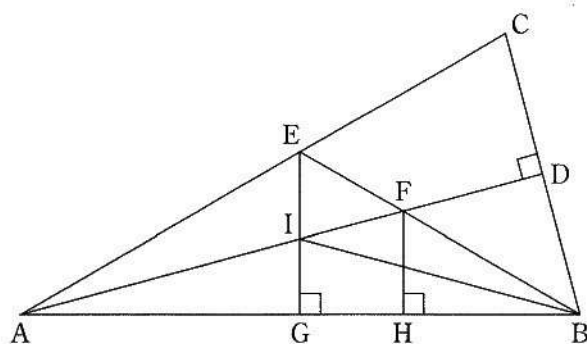
- Ⅰ 得点 $a$ 、 $b$ の両方が81点以上95点以下のとき、Yの中央値はXの中央値より必ず大きくなる。
- Ⅱ 得点 $a$ 、 $b$ の両方が81点以上95点以下のとき、Yの第1四分位数はXの第1四分位数より必ず大きくなる。
- Ⅲ 得点 $a$ が81点以上95点以下で、得点 $b$ が20点以上40点以下のとき、Yの四分位範囲はXの四分位範囲より必ず大きくなる。

表2

	A	I	U	E	O	K	K	K
Ⅰ	○	○	○	×	○	×	×	×
Ⅱ	○	○	×	○	×	○	×	×
Ⅲ	○	×	○	○	×	×	○	×

- (4) 下の図のように、 $\angle CAB = 30^\circ$ 、 $BC = 8\text{ cm}$ 、 $AB = AC$ の二等辺三角形  $ABC$  がある。点  $A$  から辺  $BC$  に垂線  $AD$  をひき、 $\angle DBE = 45^\circ$  となるように辺  $AC$  上に点  $E$  をとる。線分  $AD$  と線分  $BE$  の交点を  $F$  とし、点  $E$ 、点  $F$  から辺  $AB$  にそれぞれ垂線  $EG$ 、 $FH$  をひく。線分  $AD$  と線分  $EG$  の交点を  $I$  とし、点  $B$  と点  $I$  を結ぶ。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。



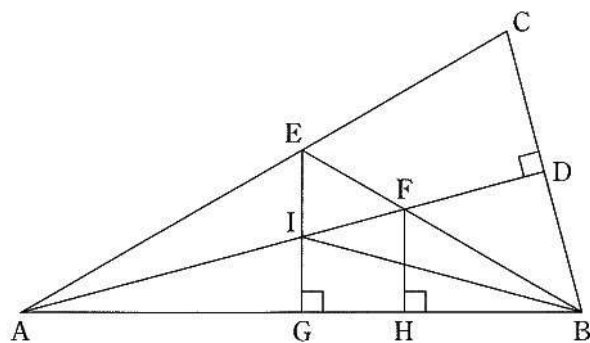
- ① 次の「け」～「さ」にあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

線分  $AF$  の長さは (  +   $\sqrt{\text{  }}$  )  $\text{cm}$  である。



② 次の「し」～「せ」にあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

線分 EF の長さは  $\frac{\boxed{\text{し}} \sqrt{\boxed{\text{す}}}}{\boxed{\text{せ}}}$  cm である。



(問題は次のページに続く)

3 次の英文は、アニマルセラピー(animal therapy)に関するノア(Noah)の発表の原稿です。この原稿を読んで、あとの(1)~(3)の問いに答えなさい。

I have two dogs, Leo and Max. Every morning, I run with them before leaving for school, and every evening, I watch TV with them after dinner. Spending time with them always makes me feel relaxed. I sometimes wonder, "Do they have a special power to make me happy?"

Last week, when I was watching TV with my dogs, I was surprised to see a news report about a horse which was called "Doctor." The horse went into a hospital and visited patients who were very sick. The news said the horse knew how to make patients calm and happy. I got interested in it and read some articles. I learned it was a kind of animal therapy.

Animal therapy comes from the bond between humans and animals. The animals used in therapy are often dogs, cats, horses, and birds. These animals are taught to be friendly and safe when they are with people. Spending time with these animals can improve people's mental and physical health. It may reduce stress and make people feel happier and more relaxed. Also, some kinds of animals such as dogs may help people get exercise if they walk or run with them or touch and brush them.

Animal therapy is used in many different places. For example, in hospitals, it helps patients to feel calm and relaxed. Also, it helps patients who are recovering from physical damage. Animals can motivate people to do exercise and improve their movement. Animal therapy is common in nursing homes, too. The animals' visits can make elderly people feel happier and less lonely.

Now, animal therapy is becoming popular in schools, too. Many schools are beginning to use therapy animals, especially dogs. They help students not only to reduce stress and feel relaxed but also to improve their studies. First, they help students to improve their mental conditions. They can be good listeners. They sit and listen to them in a positive and friendly way. Through this, students can develop their communication skills. Second, they help students to learn better. According to research, having a therapy dog in a classroom can help to make a positive learning environment. Other research found that children can develop their reading skills by practicing reading to therapy dogs.

Of course, animal therapy may not be a good choice for everyone. For example, some people may be allergic to animals such as cats and dogs. However, animal therapy can be helpful to many kinds of people, from patients, elderly people, to school children.

Now I realized that animals have a special power. I am helped by my dogs a lot. I believe animal therapy is one of the most effective and powerful ways to make people happier and improve quality of life.

(注) calm 落ち着いた      bond きずな      mental 精神的な      physical 肉体的な  
stress ストレス      exercise 運動      motivate ～に意欲を起こさせる  
nursing homes 介護施設      allergic to ～にアレルギーのある      quality 質

(1) 本文の内容に合っている英文として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

- ア Noah is trying to keep himself healthy by spending time with his therapy dogs.
- イ Noah was surprised to learn the words “animal therapy” from a news report.
- ウ Therapy animals are taught to find people who need their help.
- エ Animal therapy can be used to improve patients’ mental and physical health.

(2) 本文の内容に関する次の質問の答えとして適当でないものを、あとのア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

According to Noah’s speech, what are therapy dogs’ roles in schools?

- ア Helping students to relax.
- イ Sitting and listening to students.
- ウ Motivating students to support others.
- エ Improving the studying environment.

(3) 次の英文は、ノアの発表を聞いて、クラスメートのルーシー(Lucy)が書いた内容です。  
(      )に入る言葉を英語で書きなさい。ただし、語数は10語程度(、などの符号は語数に含まない。)とすること。

Like many other people, I don’t like going to the dentist. Recently, my dentist put an aquarium in the waiting room. People can watch the beautiful, colorful fish while waiting. When I went to the dentist last week, I (      ). Today, Noah’s speech made me remember this. He didn’t say anything about fish in his speech, but I think this is a kind of animal therapy, too. Now, I’m thinking of keeping tropical fish as pets. I’m sure this will make my life better.

(注) aquarium 水槽      tropical fish 熱帯魚

4 次のマオ(Mao)の発表の原稿を読んで、あとの(1)~(4)の問いに答えなさい。

Everyone knows that babies take a lot of naps, but actually, naps aren't just for small children. Taking naps seems to have benefits for everyone. Today, I will talk about my experience of napping and how good naps can be for people.

During my tennis training camp last summer, our coach made it a rule for us to take a 20-minute nap after lunch. On the first day of the training camp, I was not able to sleep after lunch. I think it was because I was very excited. But on the second day, I was able to sleep for 20 minutes. I felt my performance improved during the afternoon practice, and again on the next day. I was surprised, so I asked the coach why he made us take a nap. He told me that many top athletes take a nap to improve their performance. They make it a part of their training.

After I came back from training camp, I told my family about my experience of napping. Surprisingly, my father knows a lot about napping. This is because the company he works for sets a time for naps during working hours. These are called power naps. He told me what happens to us when we are taking a nap, and why it is good for us. According to him, power naps are short naps between 10 to 30 minutes. They make the brain forget small things that are not important. This makes space for new learning and new memories in the brain, and when you wake up, you feel refreshed. In his office, the time for power naps is considered a part of their work, not a rest.

He also told me how to take a power nap. It's not good to sleep too long, so you shouldn't sleep for more than 30 minutes. You cannot get good effects from longer naps, and they might be bad for your health. If you cannot get to sleep, just relax and close your eyes. Also, it's important to know when to nap. You should take a nap in the early afternoon.

According to some articles, some schools allow students to take a power nap after lunch. Some students say they were able to concentrate better after taking a power nap, and others say their performance in club activities improved. Power naps seem to improve the quality of school activities, too.

I sometimes feel sleepy in the afternoon classes and cannot concentrate. How about you? Why don't we introduce power naps to our school? Power naps make us feel refreshed and help us concentrate on our studies. I think this is a very good way to learn better. This can make both students and teachers happy.

(注) nap 昼寝, 昼寝をする      benefits 利点      make it a rule to ~することを決まりにする      brain 脳      feel refreshed 元気を回復する  
consider A B AをBだとみなす      effects 効果      concentrate 集中する

- (1) 本文の内容に合うように、次の英文の( )に入る最も適当なものを、あとのア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

During the training camp, Mao was surprised because ( ).

- ア her tennis coach told the team to take a nap to become top players
- イ her performance improved just by taking a nap after lunch
- ウ she was able to sleep on the third day of the training camp
- エ her tennis coach didn't tell the team about the benefits of napping

- (2) 本文の内容に合っていないものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

- ア Mao's father usually takes a nap at his company during lunch time.
- イ Power naps make you forget small things that are not important.
- ウ Relaxing and closing your eyes instead of sleeping also has benefits.
- エ When you want to take a power nap, it's important to do it at the right time.

- (3) 本文の内容に関する次の質問の答えとして最も適当なものを、あとのア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

Why does Mao recommend taking power naps at school?

- ア She learned that her tennis coach's idea was popular among top athletes.
- イ She wants to know what effects power naps have on students at her school.
- ウ She often becomes sleepy at school and feels sorry for other students.
- エ She thinks it helps students concentrate and improves quality of learning.

- (4) マオとクラスメートのカイ(Kai)が話をしています。次の会話中の( )に入る最も適当な英単語 2 語を書きなさい。

Kai: I agree with your idea of introducing power naps to our school, but what can we do?

Mao: I think we should do an experiment in our class first. We will take a power nap before the afternoon class and see how our performance improves.

Kai: I see. Maybe we can take a math test before and after napping.

Mao: Good idea. We can compare the two tests. I'm sure many of us will get a ( ) after napping. Then, we can tell our idea to the student council. Now, let's tell our classmates about our plan.

(注) compare ～を比較する      student council 生徒会

令和7年度 本検査

# 思考力を問う問題 解答用紙

氏名	
----	--

## 解答上の注意事項

- マーク式で解答する問題は、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 記述式で解答する問題は、解答欄からはみ出さないように書くこと。
- 答えを直すときは、きれいに消して、消しぐずを残さないこと。

良い例	悪い例

受 検 番 号			
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

1	(1)	ア イ ウ エ
	(2)	※解答欄は裏面
	(b)	※解答欄は裏面

3	(1)	ア イ ウ エ
	(2)	ア イ ウ エ
	(3)	

2	(1)	あ	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		い	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		う	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		え	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	(2)	お	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		か	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	(3)	① き	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		② く	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	(4)	①	け	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
			こ	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
			さ	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		②	し	○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
す			○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
せ			○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	

4	(1)	ア イ ウ エ
	(2)	ア イ ウ エ
	(3)	ア イ ウ エ
	(4)	



1		問題 番号
(2)		(1)
(b)	(a)	正 解
生物は生き延びるという目的をもつことや生態系に役割をはたすことから、自身が「内在的な価値」を有している。したがって、「真の環境倫理論」に到達するためには、人間にとって有用かどうかではなく、自然のなにかある価値を認めることが必要だ。	自然は人間から独立した価値をもっているという考えに至らず、人間への有用性で評価する段階のこと。	イ エ
17	8	8
採点基準の細部については各学校で定める。 部分点を与えてもよい。	同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えてもよい。	完答とする。
33		計

問題 番号	正 解		配点及び注意	計		
2	(1)	あ	2	6	33	
		い	3			
		う	2			
		え	3			
	(2)	お	4	6		
		か	2			
	(3)	① き	6	5		
		く	3			
		② ウ	5			
	(4)	①	け	4		6
			こ	4		
			さ	3		
		②	し	4		5
			す	6		
			せ	3		

問題 番号	正 解		配点及び注意	計
3	(1)	エ	4	18
	(2)	ウ	4	
	(3)	(解答例) watched the fish and I felt more relaxed than before (10 語)	10 各学校において統一した基準により適切に採点すること。 [部分点可]	
4	(1)	イ	4	16
	(2)	ア	4	
	(3)	エ	4	
	(4)	(解答例) better result	4 問題の主旨に合っていれば点を与える。	

合 計			100
-----	--	--	-----



令和7年度本検査学校設定検査「思考力を問う問題」について

1 問題構成

大問1から大問4までで、大問1は国語、大問2は数学、大問3及び4は英語で構成されている。それぞれの内容は次のとおりである。

大問1 国語 (33点)

- (1) 読むこと (文章の内容の理解) (8点)
- (2) (a)読むこと (説明・文章の内容の理解と表現) (8点)
- (b)読むこと (説明・筆者の主張の理解と表現) (17点)

大問2 数学 (33点)

- (1) 数と式 (文字を用いた式) (6点)
- (2) 関数 (関数  $y=ax^2$ ) (6点)
- (3) ①②データの活用 (データの分布の比較) (10点)
- (4) ①②図形 (図形の相似) (11点)

大問3 英語 (18点)

- (1) 読むこと (内容に合う英語を選ぶ) (4点)
- (2) 読むこと (内容に合わない英語を選ぶ) (4点)
- (3) 読むこと・書くこと (内容に合うように表現する) (10点)

大問4 英語 (16点)

- (1) 読むこと (内容に合う英語を選ぶ) (4点)
- (2) 読むこと (内容に合わない英語を選ぶ) (4点)
- (3) 読むこと (内容に合う英語を選ぶ) (4点)
- (4) 読むこと・書くこと (内容に合うように英語を補充する) (4点)

2 出題内容

大問1(2)は、国語の「読むこと」について、記述形式での出題である。二つの文章におけるそれぞれの筆者の主張の共通点を捉えるとともに、その共通点を基軸として二つの文章の関係性を把握した上で読み取った内容をもとに自分の考えを持ち、明確に表現する力をみる問題である。

大問2(4)数学の図形の問題は、相似な図形の性質等を利用し、線分の長さを求めたり、相似な図形の性質を利用し、辺の長さの比を求めたりする問題である。多面的に図形をとらえ、考察する必要がある。

大問3(3)英語の「読むこと」及び「書くこと」についての出題である。本文の内容を正しく読み取り、空欄に当てはまる英語を考え表現する。論理的に思考する力をみる問題である。